※令和３年度以前入学生用

１　国語

学校番号	T2101

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	国語表現ａ	単位数	２	年次	１～４
使用教科書	国語表現　（大修館書店）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会で必要な「書いて伝えるために必要な知識・力」を学びます。
・原稿用紙の使い方や年賀状の書き方など実践的な知識を養います。
・作品をよく読み、好きな作品を選んで朗読を行います。表現をすることでコミュニケーションの力を伸ばしましょう。
・語彙力の向上を目標に、小テストを行います。必ず出席と予習をして、小テストに臨みましょう。
・小説もしくは小論文を書くことを目標に、必要な語彙力を身につけ、想像力と文章構成力を養います。
・板書や発表の際は積極的に参加しましょう。

２　学習の到達目標

・会話練習やワークを通して、自らの意見を適切かつ効果的に伝えあうことができる。
・物語の創作を行うことを通じて、想像力・思考力を深めていく。
・文章の書き方や敬語の学習を通して、適切な言語表現を行うことができるようにする。
・朗読を行うことで言語感覚を磨き、社会生活の向上につなげる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	様々な表現について、その効果を吟味し、作文や朗読を互いに批評することで、自身の表現や推敲に役立てるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を豊かにしようとしている。	朗読で話題や題材に応じて効果的に話す。的確に聞き取ったり、話し合ったりして、情報や自分の考えをまとめ、深めている。	話題や題材に応じて言葉遣いや文体などの表現を工夫し、自分の考えをまとめたり深めたりして効果的に文章を書いている。		言葉の成り立ち、言語表現の特色及び言語の役割等について理解を深める。相手や場に応じた表現をするための知識を身につけている。
評価方法	記述の確認（ワークシート） 行動の観察	行動の観察（朗読、スピーチ、ペアワーク、グループワーク等）	記述の確認（ワークシート、原稿用紙） 定期考査		記述の確認（ワークシート） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	視写	教科書の文章を、速く正確に原稿用紙に書き写すことで、正しい原稿用紙の使い方を学ぶ。 教材： ワークシート	○		◎		○	a:意義を理解し、意味を考えながら文章を写している。 c:誤字・脱字・句読点に気をつけて正確に書いている。 e:視写のポイントを理解している。	a:記述の確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	聴写	聴写することで、メモのとり方のポイントを学ぶ。 教材： ワークシート	○	◎	○		○	a:メモの目的を理解している。また、間違いがあった際はなぜ間違えたかを理解している。 b: c:必要な情報を判断し、速く書き取ることができている。 e:メモを取るポイントを理解している。	a、b、c、e:記述の確認
	絵を言葉にする	抽象的な絵や道のり等を言葉で説明させる活動を通して、具体的で正確に説明・表現する方法を学ぶ。 教材： ワークシート	○		◎		○	a:適切な説明のしかたを考え、伝えようとしている。 c:キーワード等を活用し、わかりやすく説明できている。 e:説明する際に必要なキーワードの選び方等を理解している。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認

※令和３年度以前入学生用

	文章を書こう	文章表現の基本的な形を学ぶ。誤字、文章の対応、曖昧な表現回避、原稿用紙の使い方。 教材： ワークシート	○		◎		○	a:意欲的に文章表現の方法を学ぼうとしている。 c:例文の不適切な点を理解し、適切な文章で表現できている。 e:わかりやすく書く際に必要な、適切な書き方と不適切な書き方の違いを理解している。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	年賀状・手紙の書き方	様式や時候の挨拶など、年賀状と手紙の書き方を学び、実践的な知識を養う。 教材： ワークシート、便箋	○		◎		○	a:年賀状・手紙の意義を理解し、意味を考えながらルールを理解しようとしている。 c:年賀状・手紙のルールを理解し、適切な文章で表現できている。 e:年賀状・手紙のルールや用語を理解できている。	a:行動の観察と確認 c、e:記述の確認及び定期考査
	待遇表現（敬語）	尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いや、人間関係による表現の仕方の違いを学ぶ。 また、小説等の作品のキャラクターにおける、言葉遣いによって生じる役割を理解する。 教材： ワークシート	○	◎			○	a:敬語を正しく用いて、会話をしたりメールを書いたりしている。 b:シチュエーションにあわせて正確に敬語を用いたやりとりができる。 e:尊敬語・謙譲語・丁寧語の違いについて理解している。	a:行動の観察と確認及び提出物 b、e:記述の確認及び定期考査

※令和３年度以前入学生用

	メディア・リテラシー	情報の収集や発信における注意事項を学ぶことを通し、批判的思考力を養う。また、客観的な事実を述べる方法について考えるとともに、広告等における効果的な表現技法を理解する。 教材： ワークシート	○		○		○	a:さまざまな情報の中から、言語表現の特徴とそれらが人目を引く理由を見つけようとしている。 c:客観的な情報と強調したい情報を的確に書き分けて表現できている。 e: 誤情報の事例や実際の広告の言語表現を学び、それぞれの特徴を考える。	a:行動の観察と確認及び提出物 c:記述の確認 d: 記述の確認及び定期考査
	ディベート、小論文	情報収集と小論文作成を通じて、論理的・客観的に自らの意見を述べていく。 教材： ワークシート、原稿用紙	○		◎		○	a:意欲的に文章を書こうとしている。 c:内容に合わせた様々な表現方法や語彙を学び、的確に使用することができている。 e:小論文書くための技術や語彙を理解している。	a:行動の観察と確認及び記述の確認 c、e:課題作文の記述確認及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力
c:書く能力　d:読む能力
e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて〇印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。